

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本2月鉱工業生産)

2019/3/29

りそなホールディングス 市場企画部

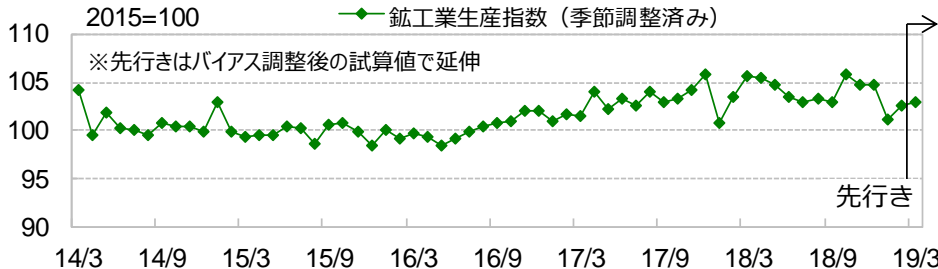


〇概況

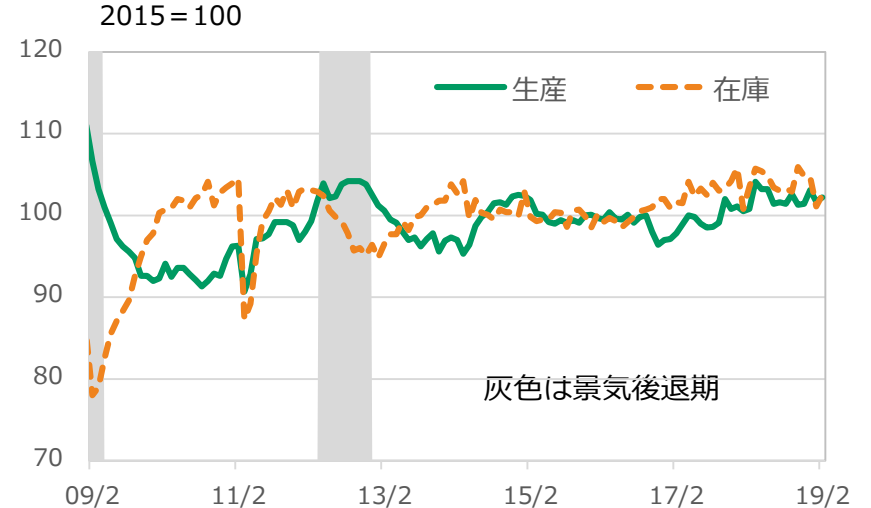
- ◆ 2月鉱工業生産、前月比+1.4%と前月から上昇
- ◆ 基調判断は「足踏みをしている」と据え置き
- ◆ 生産予測調査によると、3月+1.3%、4月+1.1%の見通し

- ✓ 2月の鉱工業生産は前月比+1.4%と、前月から上昇。中国春節の時期ずれや正月休暇の日並び要因もあって▲3.4%と大きく下げた1月の反動から上昇も、戻りは鈍い。基調判断は「足踏みをしている」と据え置き。
- ✓ 出荷は+1.8%と上昇、在庫は+0.5%と上昇。出荷に対する在庫の割合である在庫率は▲0.2%と低下。
- ✓ 生産の業種別では、15業種中10業種が上昇。自動車(+7.5%)、生産用機械(+5.6%)、電気・情報通信機械(+4.4%)などが上昇。一方、電子部品・デバイスは半導体出荷の鈍さから4か月連続で低下が続く。
- ✓ 出荷の業種別では、15業種中10業種が上昇。輸送機械(除.自動車)(+40.5%)、自動車(+8.6%)、生産用機械(+4.2%)などが上昇。
- ✓ 在庫の業種別では、15業種中9業種が上昇。電子部品・デバイス(+6.5%)、電気・情報通信機械(+3.3%)、輸送機械(除.自動車)(+3.0%)などが上昇。
- ✓ 予測調査では3月+1.3%、4月+1.1%の見通し。予測調査に含まれる上方バイアスを調整した先行き試算値は3月+0.4%であるが、底堅い推移が予測されており生産は一層の減速とはならず徐々に持ち直すことが期待される。

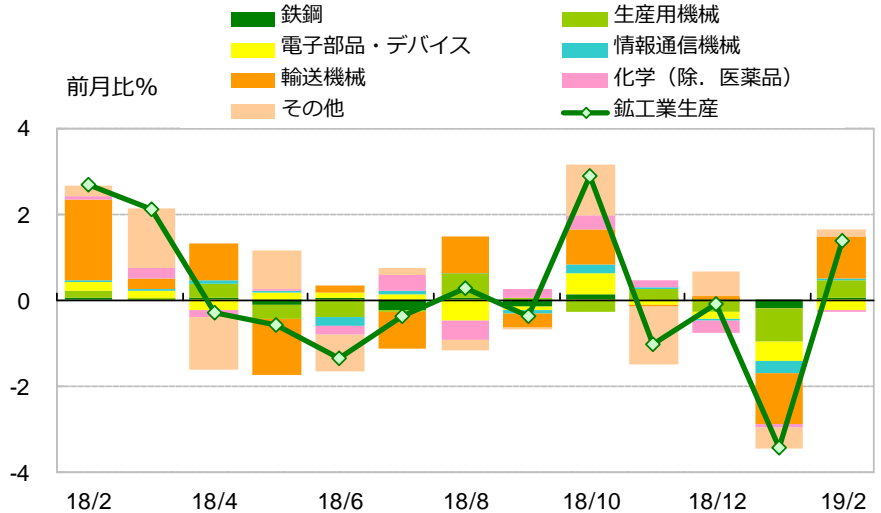
【鉱工業生産(指数)】



【生産と在庫の推移】



【鉱工業生産(寄与度)】



【出所】IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。